



私は先週、駆け足で西日本の観光地を視察してきました。切符が取れなかったので「12時東京発のぞみ」で出発、夜8時過ぎに山口県の萩に着きましたが、平日の街は暗く寂しいものでした。

翌朝8時タクシーを呼んで萩市内一周、そして津和野まで。12,000円の料金を1万円に値切ると簡単にOKが出ました。次は津和野を一回りして岩国錦帯橋まで。規定料金22,000円を15,000円に値切ったところこれも簡単にOKが出ました。

「観光地のタクシーは規定料金ではお客様は乗ってけません。お客様のご予算にあう範囲でお使いいただけなければ…」と言われ、観光地は「行きずりの客」だから「吹っかけられるかも」と思ったのは逆でした。初めての客にも、観光に来て不自由しない様にとの配慮に感動する楽しい旅でした。

岩国・錦帯橋はボランティアの若者二人が親切に説明してくれました。橋の渡り賃は往復で600円、駐車場は川原までいっぱい、この橋の渡り賃だけでも莫大な収入となるものだと思います。

尾道から舟で因島・生口島を一回りして一泊、観光地として有名な尾道の商店街を歩きましたが、想像に反し寂れていました。萩も津和野も尾道も観光で賑わっていても人口は毎年2千人、3千人と減っています。これだけ知られた全国有数の観光地でも商店街の後継者が少ないと言います。足をのびして倉敷の美観地区をのぞき、知り合いの骨董屋のおばあちゃんの店へ立ち寄りましたが、倉敷の街も裏通りは全く人気がありませんでした。思い切って岡山から備前伊部まで夕暮れ近い電車に乗りましたが、備前についたのは夕方5時頃だったので多くの店はもうシャッターが降りていました。何処でもシャッターを降ろす時間が早すぎ、がっかりしましたが、備前焼の安いのに驚きました。こんなにも安くなったのか。現地では昔からこんなに安かったのか…と、3泊4日の駆け足の旅でした。



木更津止まりの電車で降りて名物そば屋の「くわま」へ立ち寄ると、壁に「味は心」と大書してありました。君津の一店逸品運動も味は心であって欲しい。笑顔と感謝であってほしい…。先日ある方に『路上であっても挨拶も出来ない店主やオカミさんの店へは美味しくても行きませんよ！』と釘をさされたことを思い出しました。